



志清同友会
かえりやま あきお
帰山 明朗 議員

大雨による日野川堤防の漏水対策の早期実施を

問 8月4日から5日にかけての記録的な大雨により、日野川が氾濫危険水位を超過し、堤防で漏水が発生した。多くの市民から不安の声が聞かれるが、どのように認識し検証を行い、対応しているのか。

答 8月5日の明け方から朝にかけて、日野川上流の南越前町にて記録的な大雨を観測し、午前11時頃、市内中心部を流れる日野川の水位が急上昇し氾濫危険水位を超え5メートル86センチに達した。この水位上昇に伴い、左岸側6か所、右岸側3か所の堤防のり尻や擁壁から、延長にして約1キロメートルの区間に漏水が発生した。

市としては、今回は堤防の越水や決壊などの大惨事は逃れたが、漏水が堤防決壊につながる恐れもあり、多くの市民が不安を感じていることを重く受け止め、8月26日に日野川を管理する県に対し、早急に堤防漏水の原因究明を行うとともに、漏水対策を早期実施するよう緊急要請した。県では漏水が著しい箇所に仮設的に大型土のうの設置を行っており、現在は漏水の原因究明のため現地調査やボーリング調査を進めている。今後も漏水対策の具体的な検討を行いながら、今年度から順次、漏水対策工事に着手予定と聞いている。市では災害を未然に防止するため、県と連携し漏水対策の早期実施に向け協議を進めてまいりたい。



志清同友会
はやしした とよひこ
林下 豊彦 議員

水害時の対応について

問 8月の大雨時に避難した市民に対する避難所の対応は万全だったのか。

答 避難所での受付方法として、プライバシーや体調が優れない方への配慮が足りないのではないかと報告があり、想定どおりの対応とまではいかなかった。避難所の運営要員に対し、業務内容について今一度周知徹底を図り、避難者の立場に寄り添った対応が取れるよう指導徹底してまいりたい。

意見 実際の避難者の意見や感想も取り入れ、今後の避難所運営に生かしてほしい。



避難者に寄り添った対応を

問 越前町朝日地区に避難するなど、防災面での広域連携については考えているのか。

答 近隣の自治体とは、大雨予想時や警戒態勢時には頻繁に情報交換を行い、非常に綿密な連携を取っている。避難所に関する自治体を越えての体制整備については、今後の研究課題として考えていきたい。

コロナ禍での職員の人員配置について

問 多くの職員が欠員となる状況下だが、業務は支障なく行えているのか。

答 業務を重要・縮小・中断等に仕分し、優先順位を見極めながら、市民に直結する業務に滞りがないよう、勤務可能な職員で対応していく。



公明党
えんどう たかし
遠藤 隆 議員

障がい者虐待防止の推進について

問 障害者虐待防止法では、自治体への虐待の通報義務や、対応窓口の設置が義務付けられている。市における対応窓口の機能と周知活動はどのようなものか。

答 障害者虐待防止法に基づき、平成24年より社会福祉課内に鯖江市障害者虐待防止センターを設置しており、虐待の通報や届出を受理した場合は、障がい者および養護者に対して相談・指導・助言を実施するとともに、支援に関する広報や啓発活動を行っている。周知としては、市のホームページおよび広報さばえへの記事掲載や、関係機関へのチラシ配布を行っている。

問 虐待通報から原則何時間以内で安否確認等の対応を行っているのか。

答 鯖江市障害者虐待防止センターは24時間体制であり、虐待の通報を受けた場合は、通報直後に情報共有と事実確認を行っている。また、関係部署や機関から情報収集を行い、訪問調査等により障がい者の安否確認を速やかに行っている。障がい者の安全確保を第一に、速やかかつ慎重な対応に努めている。

意見 社会福祉課は基幹支援センターの役割も担っているが、少ない職員数で対応することは難しい。基幹相談支援センターを外部にも立ち上げることを強く要望する。